

1. 担当教員:池田紘士、東信行、山尾僚(連絡先:農学生命科学部総務まで)

2. 課題:多雪地域における融雪剤散布が生物に与える影響

3. 概要:

日本には、長期にわたって塩化ナトリウム(NaCl)や塩化カルシウム(CaCl₂)といった融雪剤が使用されてきた地域が存在するが、融雪剤が野外の生物にどのような影響をもたらすかを解明した研究は皆無である。本研究では、Na や Ca といった融雪剤成分が道路沿いの生物に与える影響を明らかにすることを目的とする。

4. 参考資料:



図1. 融雪剤が生物に与える影響。